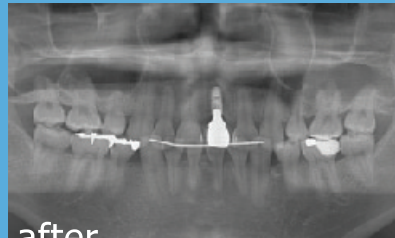
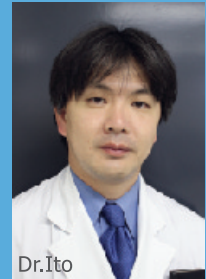


サージカルガイドを用いた 上顎前歯部インプラント症例

上顎左側1番のガイドドサージェリー

東京歯科大学 口腔インプラント学講座

教授 矢島 安朝 先生 講師 伊藤 太一 先生



症例概要

上顎前歯部欠損において審美を獲得するためには、インプラントポジションの綿密なプランニングが重要である。しかし施術時に形成窩の位置がずれてしまえば、プランニングが意味を成さないばかりか審美障害を招く恐れがある。上顎左側1番欠損において、フィクスチャーの三次元的な位置をプランどおり実現するためにサージカルガイドを利用した。

インプラントシミュレーション

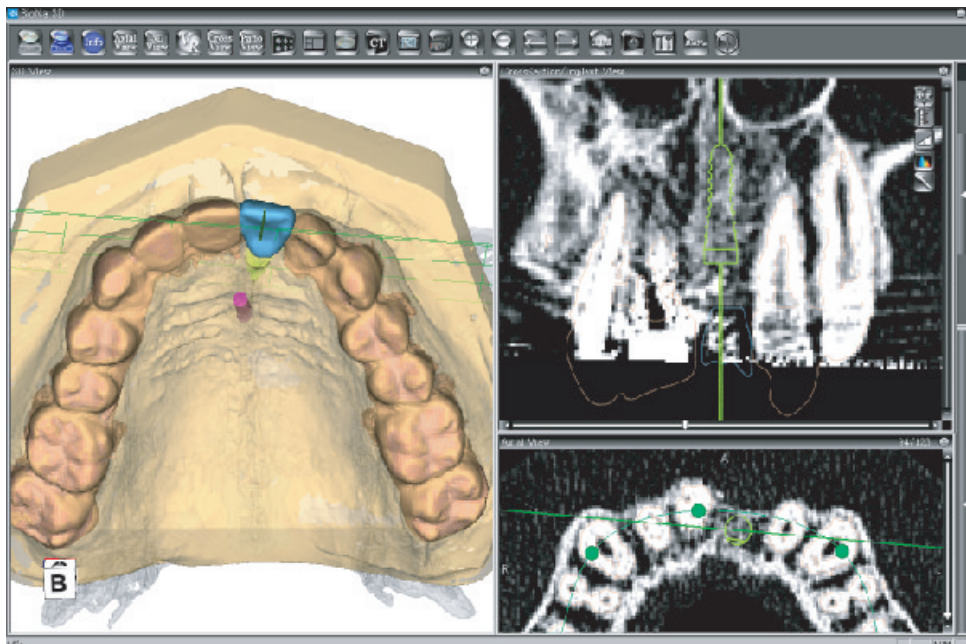


図1. BioNa®でのシミュレーション

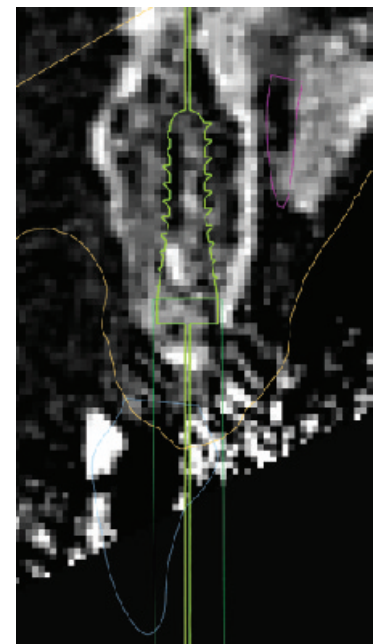


図2. 唇舌断面

CT画像から読み取った骨の状況と、上部構造のシミュレーションであるバーチャル歯冠の位置から判断し、最適な埋入位置を求めた。フィクスチャーはφ3.5mm-L11mmを使用した。

インプラントはプラットフォームスイッチタイプであり、審美領域に有用性の高いAnkylos® implantを選択した。審美領域に対するインプラントの埋入位置は、唇側に十分な骨量を残し、口蓋側の限界位置は隣接歯の口蓋ラインを基準として口蓋に位置しすぎないようにする注意が必要である。このようなシビアな埋入計画には、コンピュータサージカルガイドシステムが最適と考えられる。

サージカルガイドを用いた埋入手術

歯牙支持型のサージカルガイドを作製し、埋入手術を行った。この症例は骨量があまり豊富でないことから、歯肉弁を開いて骨の状態をしっかりと確認しながらドリリングを行った。サージカルガイドを使用したことにより、理想的なシミュレーションどおりの位置や深さにインプラントを埋入することができた。



図3. 完成したサージカルガイド



図4. 初診時口腔内状態
上顎左側1番欠損部に貼り付けた仮歯

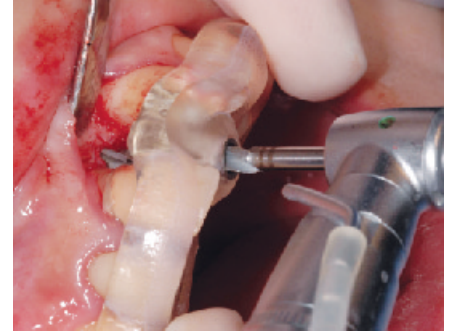


図5. サージカルガイドを使用したドリリング



図6. 上顎左側1番欠損部にインプラントを埋入

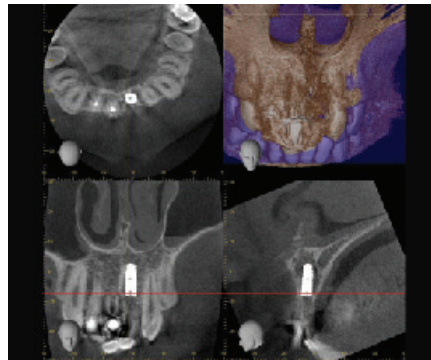


図7. CTにて確認、インプラントは理想的な位置に埋入されていた



図8. 最終上部構造装着

考察

コンピュータサージカルガイドシステムは、安全なインプラント埋入手術を援助してくれる強力なツールであると同時に、「確実な結果」を担保する安心なシステムでもある。サージカルガイドを使用すれば、治療計画に沿った正確なインプラント埋入が可能である。今回のケースでは、サージカルガイドを用いることにより前歯部審美領域において理想的な位置や深さにインプラントを埋入することができ、審美性に優れた最終上部構造の作製に反映させることが可能となった。コンピュータサージカルガイドシステムはその利点欠点を十分に理解し、適切な症例を選択し、正しい使用方法を守ることで、インプラント治療の成功をより確実なものとし、患者および歯科医師の両者に「安心・安全」を与える強力な武器であろう。

BioNa One Point
“見えすぎる”シミュレーション

▲舌唇断面 ▲近遠心断面

BioNa®ではインプラント軸を中心として360°回転させることで、インプラント周囲骨の状況を詳しくみることができ、また、合成された石膏模型や対合歯、プロビジョナルなど多くの情報をもとにした細密なシミュレーションが可能である。

歯科大教授が明かす
本当に聞きたい!
インプラントの話

[安心・安全な治療を受けるために]
インプラント治療の正しい知識、信頼できる歯科医師の選び方を解説。患者さん必携の一冊です。

[角川SSC新書]
矢島安朝 著
ページ数：199p
発売日：2013/3/9
定価(税込)：840円
角川マガジンス/
角川グループパブリッシング